

平成 30 年 3 月 13 日

平成 29 年度大阪府立箕面東高等学校 第 3 回学校協議会 報告

【日時】 平成 30 年 3 月 2 日（金） 15 時 30 分～16 時 45 分

【場所】 校長室

【出席者】 学校協議会委員：伊東 義輝（大阪成蹊短期大学）〔委員長〕

小山 正辰（森ノ宮医療大学）

浅井 隆志（箕面市立第六中学校 校長）《欠席》

須貝 昭子（NPO 法人「市民活動フォーラムみのお」）

入谷 光代（本校 PTA 会長）

篠崎 朗（本校同窓会会長）《欠席》

校長：國守 正二

事務局：鎌田 啓（教頭）、堀 茂樹（教頭）、川上 慶次郎（首席）、

室田 真幸（主席）、野田 恒三（ガイダンス部長）、

藤田 晋太郎（3 年次主任）

【挨拶】

- ・校長挨拶
- ・学校協議会委員紹介 浅井委員、篠崎委員は欠席
- ・学校事務局員紹介

【説明・報告事項】

1. 今年度の進路状況

・今年度の進路状況（野田・藤田）

＜ES1 期進路決定状況説明（野田）＞

大学進学者が増えてきた。

就職希望者も 8 割の生徒が採用されている。

浪人者は、学力の面で浪人しているものと、金銭面で浪人しているものがある。

＜ES1 期の状況・実状説明（藤田）＞

＜質問＞

（委員） 就職に公務員が 1 人いますが、職種は何ですか。

（野田） 自衛隊です。

【協議事項】

1. 平成 29 年度・学校経営計画および学校評価（別紙・資料 他）

- ・平成 29 年度・学校経営計画および学校評価（別紙・資料 他）＜校長＞

パワーポイント用いて学校の様子、受験者数などの説明

＜質問＞

（委員） 定員割れの原因は何ですか。

（校長） ①淀川清流ができたのでそちらに受験生が集中した。

②私立に生徒が増えた。

③箕面東高校の魅力をアピールしきれていない。

の 3 つが考えられる。

2. 学校教育自己診断アンケート結果

- ・学校教育自己診断アンケート結果（鎌田）

資料説明、分析

＜質問＞

（委員） 進級規定を教えてください。

（藤田） 進級するには 4 科目、12 単位以下なら進級できます。

3. 平成 30 年度 学校経営計画および学校評価

（校長） 吹き出しの部分が変更点

- ・指標をわかりやすく表現

→%ではなく数値化して

- ・いじめについて

→いじめ事象が発生している

どれだけ早く対応できるか、その体制作り

- ・部活動

→1 月時点で入部率が 50%を超えることを目標にしたい

- ・学校からの発信

→部活動で地域の中学校と交流

裏面は指標

→網掛けの部分が変更点

定員割れのない学校作りを

4. その他

(校長) 学校協議会制度が変わる

→コミュニティスクールに移行する上で名称、役割の変更

「学校運営協議会」へ

役割の違い

- ・学校の目標の承認
 - ・教員の任用、人事に関する意見
- メンバーは変わらない

<質問等>

(委員) 里帰りとは？

(校長) 生徒が出身中学に帰り、現状報告すること

→元気に通っている姿を見せる

今年は20数名

(委員) 時期的にはいつか？

(川上) 入学してしばらく

(校長) 生徒が自信を持っている姿を中学の先生に見てもらうことで、
中学の先生方が喜んでくれる

(委員) 生徒が熱心、授業も真摯に聞いている

外部連携で接点が増えると良い（今現在もすごく開かれている）
パンフレットもすごく好評

(委員) 箕東展等で生徒からの説明があるともっとわかりやすい

→保護者以外が来たときにわかりやすくなる

(委員) 研究授業のビデオを撮って研修をしていることを生徒は知っているのか？
知っていたら生徒も変わるのでは？

(下平) 授業内では話をして伝えるようにはしている

(委員) 生徒も「先生も頑張っている」と知ることで信頼感が変わってくる

(教頭) 研修の様子はHPにもアップしたりしている

(校長) スマホでも見れるようにしたらどうか？

(委員) アンケートに「自校のHPを見たことがあるか？」という項目はあるのか？
スマホで見ることができれば、生徒が学校全体に関心を持つことができる
エンパワメントスクールの素晴らしさを内外に伝える →「内」にも